

第 59 回 無縫会議事録

概要

第 59 回無縫会例会は、2022年 11 月 30 日(水)13時30分から やまゆり 会議室において対面形式で開催された。

無縫会 全会員 田中紅乃さん、井口南柳さん、岩田陶泉さん、植木流水さん、佐藤藍良さん、中島風奏さん、宮澤華恵さん、三日尻遊児の参加の下で開催され、それぞれ3句合計24句が投句された。

当日は、季節を反映する「紅葉」、「枯葉」、「落葉」を詠んだ句が多くみられた。

無縫会も創立から5年を経過し、今回も数多くの佳句、秀句があった。

その中で 11 月度例会の特選句は、以下の通りであった。

第 59 回 無縫会例会 特選句

「隙間風生家あまたの年を生き」	華恵
「冬もやにゆるり溶け込む手漕舟」	遊児
「冬将軍北アルプスに陣を張り」	華恵
「黙然とただ黙然と冬日射し」	南柳
「窯の火は生きるが如し冬の紅」	風奏
「踏む音を足にからませ枯葉道」	紅乃

例会の俳句談義等

- ① 「隙間風・・・」の「年」は、「時」の表現が良かった気がする。
- ② 「冬もや・・・」の「ゆるり」は、表現が適切。
- ③ 「冬将軍・・・」は、見事な連想だ。
- ④ 「一葉・・・」は、「枯葉の落ちる様」が見えるようで素晴らしい表現。
- ⑤ 「黙然・・・」は、冬の柔らかな日差しを浴びながらのんびり過ごす様子が表現できていて見事。
- ⑥ 「窯の火・・・」は、「生きるが如し」と連想した所が見事。
- ⑦ 「幽かなる・・・」は、「明日を信じて」が大変良い表現。冬の蝶の心は、まさにこの通りのように思う。

その他は割愛します。

俳句の豆知識

「俳句作り方」：上五一中七一下五の夫々には、次のような言葉を嵌め込む。

(上五)⇒自分の体験、 例；バツイチなら…「バツイチ」

(中七)⇒喋っている言葉、日常何げなく使っている言葉、

例；毎日総菜を一つ、二つ買って帰る…なら
—「総菜一つ」

(下五)⇒これらに相応しい季語、 例；「秋の暮れ」 ⇒「バツイチの総菜一つ秋の暮」

夏井いつき NHK TV より

特記事項

- ・ 忘年会の残金は、次回の例会で各人に返金する。

次回の予定

「第60回 無縫会開催予定」

開催日 : 2022年12月 21 日(水) 15 時～

場所 : やまゆり サロン

季語 : 「冬」、「新年も可」

投句数 : 3句

投句方法: 短冊に記載の上持参 了

三日尻遊児記